

## ダマスク・モダンの香り

ダマスク・クラシックの香りより、さらに情熱的で洗練された香りです。



パパ・メイアン



## ダマスクの香り&ティーの香り

さまざまな花の香りの中でも、バラの香りはほかの花の香りに比べ単一ではありません。540を超えるといわれる香気成分が複雑に組み合わせられています。モダンローズは、ヨーロッパのバラと東洋のバラの原種と交雑種、そして長い年月の間の人工交配の積み重ねにより、花色・花形・樹の性質などさまざまなバラが生まれています。一季咲きの西洋のバラに四季咲き性の性質をもたらし、中国のバラであることはよく知られます。香りについても同様で、香料につかわれるようなヨーロッパのバラのダマスク系の香りに、中国のバラのティー系の香りが加わり、多彩な香りになりました。香りの内容で大きく7分類されています。

## アニス(ミルラ)の香り

ハーブのスイートシスリー(ミルラ、オドラータ)様の香り。やや青くささを強めた香りですが、ダマスク系やティー系の香りとよく調和します。イングリッシュローズに多くあります。



アンブリッジ ローズ



デンティ ベス

## スパイシーの香り

ダマスク・クラシックの香りをベースに、スパイスとして使われるクローブ(丁子)様の香りがやや強く感じられます。ノイバラや一重の品種の多くはこの香りです。

## 香りのばら園の誕生

(株)北陸製作所(長岡市)所有のバラ園が2001年(平成13年)6月に閉園したことに伴い、存続を望む多くの長岡市民の要望を受けた国営越後丘陵公園がこのバラの寄贈を受け、2003年(平成15年)5月24日に“香りのばら園”が開園しました。誕生から20年の時を経て、2023年春、「ながおか香りのばら園」に改称しました。

## 国際香りのばら新品種コンクール



フレグラント ヒル  
(第1回国土交通大臣賞)

世界でも珍しい、香りに特化した新品種コンクール。交配が重ねられる中で失われつつあったバラの「香り」の魅力をあらためて評価し、香りのばら園に一層磨きをかけるため2005年(平成17年)から行っています。入賞したバラで特に優れたものは、引き続き本公園で栽培しています。

## 香りのばらまつり

四季咲き性のバラのせん定時期を調整しながら、年2回、春と秋の開花期に合わせて「香りのばらまつり」を開催しています。講演会やガイドツアー、ワークショップなど、さまざまなイベントを開催します。



**バラの開花時期**  
春 5月末→6月下旬  
秋 10月初旬→11月初旬  
※開花時期は気候により変化します。開花情報はホームページまたはお電話にてご確認ください。

## お問合せ先

## 国営越後丘陵公園 越後公園管理センター

〒940-2082  
新潟県長岡市宮本東方町  
字三ツ又 1950-1  
TEL (0258) 47-8001  
FAX (0258) 47-8002  
URL <https://echigo-park.jp/>

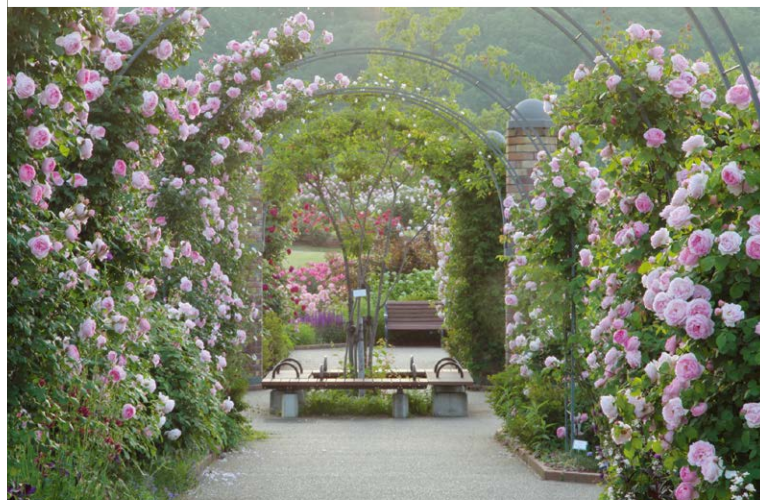


ながおか

世界バラ会連合優秀庭園賞

## 香りのばら園

## ガイドマップ



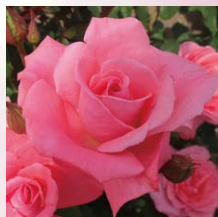
©Hideharu Imai



越後丘陵公園  
ECHIGO HILLSIDE PARK

## ダマスク・クラシックの香り

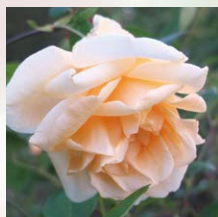
ヨーロッパ原産のバラ(ガリカ、ダマセナなど)の強い甘さと華やかさをあわせもっています。



ほうじゅん  
芳純

バラの香りは、香気成分の科学分析に官能評価(嗅いで感じた香り)を加えて、香りのタイプが大きく7分類されています。バラ園内にはこれら同じ香りを整理したエリアやコーナーがあります。実際に嗅いで、その香りを“標準”として、さまざまなバラの香りを言葉にしてみましょう。香りの7分類の代表的品種をご紹介します。

## ながおか 香りのばら園で まず“標準”をつくろう ～ バラの香りの7分類



レディ ヒリンドン

## ティーの香り

中国原産のバラの香り成分が特徴。グリーン・バイオレットの香りを基調とする上品で優雅な印象の香り。香り立ちは中くらい。

## フルーティの香り

ピーチ、アプリコット、アップル様などフレッシュな果実の香りを思い起こさせる香りです。



ダブル デイライト

## ブルーの香り

ダマスク・クラシックの香りにティーの香りが混じる奥深い香り。ブルー系の品種に多くあります。



ブルー ムーン

約**800** 品種 **2,400** 株 世界バラ会連合優秀庭園賞

# 1つ1つのバラが香り、 バラ園全体が香る ながおか 香りの ばら園

「ながおか香りのばら園」は、華やかな色や形の美しさはもちろん、私たちの心を酔わせる「香り」にこだわった庭園です。

モダンローズを主体とした『香りのエリア』・『色彩のエリア』・『殿堂入りしたばらのエリア』、日本の自生種を扱った『日本の野生のばらのエリア』、古代バラを系統立ててご覧いただける『原種・オールドローズのエリア』、古典的なスタイルのモダンローズを配した『ばらと草花のエリア』、そして国際香りのばら新品種コンクールの『試作場』と同コンクールの受賞バラをコレクションしている『受賞ばらのエリア』の8つのエリアで構成されています。

バラのさまざまな魅力を楽しみながら、どうぞごゆっくりとお過ごしください。

## バラの香りの嗅ぎ方のマナー

- 茎を持って香りを嗅ぎましょう。  
手のにおいがつくので、花びらには手を触れないように。
- くんくん嗅がず、すーっと香りを吸い込みます。
- 息は横に逃がします。花にかかると息の香りがつきます。
- 3回まで繰り返し、言葉で「○○」の香りと表現します。  
3回以上嗅ぐと鼻が慣れて分からなくなります。

## 受賞ばらのエリア

国際香りのバラ新品種コンクールで受賞した、特別賞をはじめ金・銀・銅賞すべての品種を植栽しており、コンクールの歴史を巡りながら世界中の選りすぐりのバラをご覧いただけるエリアです。



## 色彩のエリア

越後の「雪」や白色にちなんだ名前を持つ白いバラや、橙・黄・赤・桃の花色のグラデーションが楽しめます。



## 日本の野生ばらのエリア

地球上に100～200種あるといわれる野生バラのうち、日本に自生するものを植栽しています。

## 香りのエリア

“バラの魅力を香り”をテーマに、四季咲き性のモダンローズから芳醇な香りを持つ品種を選び、6種類の香りのタイプ別に植栽しています。なお、アニス(ミルラ)の香りは、バラと草花のエリアに植栽しています。



## 国際香りのばら新品種コンクール 試作場

2005年から本公園で開催しているコンクールで、審査中の新品種をここで試作しています。

## 殿堂入りした ばらのエリア

世界40ヵ国のバラ会が参加する「世界バラ会連合」が3年に1回開催する「世界バラ会議」で選ばれた“殿堂入りしたばら”を植栽した芝生の広場です。

## ばらと草花のエリア

宿根草類と、それに調和するバラを組み合わせ、「香り」をはじめとする四季折々の楽しみにあふれた花の庭です。雪国越後の環境によくなじむ植物が植えられ、庭づくりに活かせるアイデアと出会うことができます。  
また、このエリアのバラは、四季咲き性のモダンローズと、優しい印象や繊細な味わいを持つオールドローズの性質を組み合わせた「古典的なスタイルのモダンローズ」です。



## 原種・オールドローズのエリア

モダンローズが作出される以前の原種バラとオールドローズを系統的に分類し、植栽しています。春には、オールドローズをポプラの木に誘引した風景をご覧ください。



春・四季咲きのランブラーローズを中心にガーランド(花綱)仕立てにしました。